

河合塾高校グリーンコースでめざすもの

高校生の 「間に合わなかった」を なくしたい。 だから、河合は 1月開講。



河合塾 進学教育事業本部長
近藤修司

現役生を対象とする河合塾の高校グリーンコースでは、2024年度の高校2・3年生（現1・2年生）からカリキュラムを大きく再構築（リモデル）し、4月開講から1月開講に変更となります。

新しい高校グリーンコースがめざす姿やポイントについて、進学教育事業本部長・近藤修司からご紹介します。

リモデルの背景

受験環境の変化に対応すべく これまでの教育サービスを深化

18歳人口の減少や入試方式の多様化など、受験生を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

また、2025年度からの新課程入試では、大学入学共通テストで教科「情報」が追加されるなど、学習範囲・量が増加します。こうした状況の中で、生徒が最も望む第一志望への合格を確実に実現し、同時に生徒一人ひとりが将来にわたり学び続けるための考え方・価値観・学習法を身につけてもらうには、これまでの教育サービスをより深化させる必要があるという考えに至りました。

リモデルのポイント

POINT

1

1月開講によるプラス3カ月の 新カリキュラム

現役生が第一志望に合格するためには、知識・概念の理解など、受験対策の土台となる基礎学力をしっかりと固めること、志望校に応じた実戦演習を十分行うことの両方が必要となります。今まで多くの生徒を見てきた中で、第一志望の合格を勝ち取った生徒は、3年生の冬までにこの両方の準備を整えることができた生徒です。逆に残念ながら第一志望に合格できなかった生徒は、両方あるいはどちらかが欠けている場合です。入試本番までに知識や概念など基礎学力を固めた上で、さらに入試問題レベルの演習と十分な学習を積み上げることが必要なのです。

そのため、高校グリーンコースでは、学習の質と量で学力向上を実現するために、各学年のスタート（開講）の時期を4月から1月に変更しました。3カ月早くスタートすることで、3年生の夏までに入試学力の土台を作り、2学期からは入試問題レベルの演習に取り組むことができるカリキュラムです。また、学校で学ぶ進度も重

スタートが遅れると、**基礎力が不十分**のまま受験学年へ…



早期スタートなら**基礎を**しっかり固めて受験に臨める



要なため、全国の高校600校の学習進度をもとに策定しており、入試や教科ごとの特性も加味しながら、無理のない進度で設計しています。

POINT 2 「つまずき」「わかったつもり」を見逃さず、学んだことを確実に習得

これまでの経験から、志望校の合格を勝ち取るには「わかる」に留まるのではなく、「できる」まで一人ひとりの生徒を導くことが大切であると確信しています。そのため、新カリキュラムではチェックテストなどを取り入れ、日々の授業の習得状況を確認することとしました。また、「学力診断テスト」を新たに導入します。学期ごとに身につけてほしい学習内容の習得度を測定することが目的です。全国のライバルと比較し、志望校との距離を測る「全統模試」とあわせて、学力の土台を固めるとともに実戦力を伸ばしていきます。

これらのテストの結果は、河合塾が独自に開発した Learning Management System (以下、LMS) にスピーディーにデータとして蓄積されます。このデータをもとに、授業を担当する講師とクラス担任であるチューターが、生徒と一緒に「できたこと」「できなかったこと」を振り返り、次に何をどのように学習するかを生徒自身が気づき、自走できるように支援していきます。

POINT 3 自宅にいるときも気軽に相談できる 360°学習サポート

今回のリモデルを行うにあたり、学習支援ツール「Studyplus」(スタディプラス)も導入しました。Studyplusには大きく2つの機能があります。1つは学習状況の可視化です。自学も含めた学習計画と学習記録を登録することができますので、生徒自身が主体的に学ぶ習慣をつけることができます。もう1つの機能はチューター(クラス担任)とのコミュニケーションです。対面の相談はもちろんのこと、チャット機能を使うことにより、河合塾に通塾していない日でもタイムリーに相談することが可能となりました。実際、気軽に相談ができる、入試直前に激励のメッセージをもらえて励みになったなど、生徒からも大変好評です。

河合塾では、生徒一人ひとりの学習課題を解決するために講師とチューター(クラス担任)がLMSやStudyplusなど学習支援基盤を活用して、一人ひとりに最適な学習アドバイスをを行い、第一志望の合格へと導きます。高校生の「間に合わなかった」をなくし、第一志望の合格を確実に実現し、将来にわたり「学び続ける力」を育むため、これからも変化を恐れず、チャレンジし続けたいと思います。

詳細は河合塾WEBサイトへ

